

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

会報 *KSTNET*



第25号 2006年6月30日発行

発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27
熊本託麻台病院(事務局)
TEL 096-381-5111(内線228)
FAX 096-381-5115
E-mail: takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111
メディカル・カレッジ青照館
TEL 0964-54-2211
FAX 0964-54-2213
E-mail: yamaguchi@seishoukan.ac.jp

責任者：山口 信

会長からのメッセージ



熊本県言語聴覚士会 会長 小園真知子

『会員へー情報の発信と取得』

さる6月17日に、本年度熊本県言語聴覚士会総会を無事終了いたしました。総会とその前の特別講演会の参加者は、100名を超えご参加頂いた会員の意識の高さを非常に心強く感じました。新規開設の病院施設も増え、総会の時点で当会の会員数は193名となりました。

当会は1999年の第1回国家試験に合格した40数名で発足して7年になります。会員数の増加につれ、活動単位を地区別のブロックに分けていますが、本年の南部ブロックの会員数が、初年度の会員数とほぼ同じと聞いて感慨深いものがありました。ST数が少ないといわれてきた人吉・球磨地区の病院、老人保健施設にも新規の開設があり、県南の方々の言語聴覚療法が充実してきたのは非常に喜ばしいことです。

本年、言語聴覚士の資格を取られた方々は言語聴覚士法成立の経緯をご存知かどうか分かりませんが、私たちが国家資格として認められてからまだ7年しか経っていません。全国の言語聴覚士協会員がまだ1万人未満ですから、他の医療・福祉の団体と比べるとまだまだ小さな団体です。言語聴覚士会が職能団体として真に機能するためには、会員一人ひとりが自分たちの職域を高める意識による協力が不可欠です。

言語聴覚障害を持つ方々の役に立つSTであるためには、自らの知識・技術を高めることが重要ですし、私たちが専門職として提供できることの情報を積極的に発信する必要があります。県士会では、総会、新人研修会、学術研究発表会を計画し、会員の資質向上に努めています。対外的には、熊本市、熊本県の医療専門団体の連合会に加盟し、健康フェスティバルやシティFM出演などの広報活動を行っています。また、失語症のつどい、摂食・嚥下研究会、訪問リハビリテー

ション研究会、高次脳機能障害検討委員会、地域リハビリテーション協議会、介護審議会など当事者、他職種の方々と協力して活動しています。

全国レベルの活動としては、昨年より日本言語聴覚士会都道府県士会協議会に加入し、生涯学習講座の開催が可能となっています。本年度の日本言語聴覚学会は5月20、21日金沢で開催されましたが、本県の会員の学術発表数の増加は目覚ましいものがありました。来年度の浜松での学会にもぜひ継続していただきたいと思います。九州内では、本年10月29日、大分で九州地区言語聴覚士会学術集会在開催されます。前日には、日本言語聴覚士協会の生涯学習講座も開催されますので合わせてご参加ください。

最後に会長からのお願いですが、会員一人ひとりが情報の発信・取得に努めてください。周りのスタッフ、患者、利用者、家族の方々に、言語聴覚士としての情報を発信しましょう。県士会の広報パンフレット、日本言語聴覚士会のパンフレットもぜひご活用ください。ご意見、情報を熊本県言語聴覚士会ホームページからでも、ブロック長宛でもいいので、できるだけリアルタイムで発信してください。職務上の疑問点、悩みなどについても遠慮なくご相談ください。県士会および日本言語聴覚士会のホームページには様々な情報を載せていますので、最低週1回は情報チェックをして下さい。

以上、本年度も理事全力を挙げて県士会を運営していきますのでよろしくお願い致します。



平成18年度 県士会総会 報告

去る6月17日(土)、15:00~20:15、熊本交通センターホテルにおいて熊本県言語聴覚士会総会および懇親会が行われました。

まず15:00~16:00に崇城大学教授 松倉誠先生が「発達障害児の理解と対応」の演題で特別講演を行いました。

ビジュアルな教材が豊富で、小児領域のSTのみならず成人領域のSTにとっても大変ためになる内容でした。

次に16:15~16:45、小菌会長が「STとして知っておきたい介護保険と高次脳機能障害支援体制」の演題で会長講演を行いました。

特に新人にとってはまだ熟知していない内容と思われ、有意義なものでした。

講演の後、17:00~18:00、総会が開催され、多くの演題が賛成多数で可決されました。

主なものは①平成17年度活動報告・決算に関する件②平成18年度活動方針案・予算案に関する件③規約の改正の件④組織の人事に関する件⑤会員連絡体制について、などです。

通常、こうした会は、会員数に比較すると出席者より委任状のほうが多かったりするのですが、193名の会員に対して出席者だけで過半数を超えており、実の詰まった決議だったのではないかと思います。



総会の後には懇親会が行われ、多数の会員が参加しました。

特に新人はほとんどが参加しており、元気でユニークな自己紹介が行われました。

最近の新人の増加には目を見張るものがあります。

STも制度化されて既に7年が過ぎ、その間2度にわたる厳しい診療報酬引き下げなど、リハにとって決して順風とはいえない出来事も起こりましたが、それでもSTが増え続けているのは、先輩方の努力と職種そのものの必要性がようやく世間に認知され始めたことの表れだとうれしく思っています。

みなさん、STの職域と人数の拡大のためにがんばっていきましょう。

最後に、総会の準備や運営のために活動された会員の皆さん、どうもお疲れ様でした。

皆さんの献身的な働きが県士会の活発な活動を支えていると思います。他県にはないほどの現在の密な連絡体制を維持できるよう、今後ともよろしくお願ひします。

記事：メディカル・カレッジ青照館 山口 信



全国協会にも加盟しましょう！

県士会の上部組織である日本言語聴覚士協会にも加盟しましょう。

自動的に割安の傷害保険に加入できるのが利点です。

<http://www.jaslht.gr.jp/>が協会HPです。

ブロックだより

- 北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本
- 東部ブロック
菊池・阿蘇
- 中部ブロック
熊本
- 南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣
- 西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

今年度より青磁野病院の山田真由美先生より北部ブロック業務を引き継ぎました。菊南病院の大塚裕一です。どうかよろしくお願ひいたします。北部ブロックの年度計画として9月に講演会、12月から1月に忘年会か新年会、3月に症例研究会を実施予定です。とりあえず今年度の講演会は「失語症の障害メカニズムと訓練法」の著者である(前)江戸川病院 リハビリテーション科 科長の小嶋知幸先生に来ていただくことになりました。ただ期日が若干ずれて10月7日(土)となります。詳細は後日御報告いたします。他のブロックの方も多数ご参加していただければ幸いです。

「OKIRAKU 勉強会開催中です。誰でも参加自由です。ご参加いかがですか？」

毎月第3金曜日、東野病院にてPM7:30より勉強会を実施しています。今年で3年目となりました。内容は症例検討、学会事前発表練習、伝達講習、お悩み相談、情報交換等バラエティーに富んでおり、現在30名ほど、新人さんから10年位の経験者の方まで、各ブロックを越えて、様々な施設より、参加されています。参加費は毎回100円となっています。参加希望される方は当院まで御連絡ください。お菓子をポリポリ食べながらのお気楽勉強会もなかなかおつですよ。

菊南病院言語室 大塚裕一
電話 096-344-1711

[東部ブロック報告]

勉強会を下記の通り行いました。

日時：6月23日金曜日 19:00～20:45

場所：熊本リハビリテーション病院

内容：「当院の嚥下班の活動報告」

熊本セントラル病院 辻 法子

「多彩な高次脳機能障害により心理社会的コミュニケーション障害を呈した大学生」

熊本リハビリテーション病院 中瀬

洋昭

今回は嚥下障害、高次脳機能障害の2つテーマについての報告がありました。「当院の嚥下班の活動報告」については他職種との連携や家族の理解・協力を得る為に取り組んでいる活動について報告して頂きました。参加された先生方を交え、それぞれの施設においてチームアプローチのために工夫していることについて情報交換を行うことができました。

また「多彩な高次脳機能障害により心理社会的コミュニケーション障害を呈した大学生」については、自発性低下に対する取り組みや家族を含めた障害の受容、退院後の支援など、参加されていた先生方と活発な意見交換ができました。発表者の中瀬さんからは「時間をかけてまとめた事で症例について深く考えるよい機会になりました。また臨床に活かせるヒントが沢山あり、今後も継続的に検討・考察を重ねていきたいと思います。」という感想も頂きました。

尚、参加者は26名でした。臨床での困っている事、悩んでいる事について気軽に相談したり、意見交換ができる有意義な勉強会にしていきたいと思ひます。

熊本リハビリテーション病院

山本由佳



[中部ブロック報告]

中部ブロックは今年度からブロック長：前田紗知（熊本第一病院）、副ブロック長：下田祐輝（熊本市こどもの発達相談室）が務めさせていただくことになりました。がんばりますのでよろしくお願いいたします。

＜平成18年度 第1回中部ブロック研修会＞

中部ブロックでは6月9日（金）に江津湖療育園にて第1回中部ブロック研修会を以下のような内容で開催いたしました。

テーマ：『AACアプローチの基礎と臨床』

1. AAC 機器デモンストレーション
2. 失語症などに対する AAC アプローチ（熊本託麻台病院 中村雅己先生）
3. 発達障害などに対する AAC アプローチ（江津湖療育園 本村富士子先生）

参加者は22名で他ブロックからも多数参加していただきました。中村先生からは AAC 導入の為に、ST自身が各 AAC の特徴を知り的確に選択できる能力を身につけることや、パソコンや携帯電話など AAC として活用した症例をあげて話していただきました。本村先生からはコミュニケーションとは何か、そして実際に VOCA などを用いてゲームをおこなっている症例のビデオを見せていただきました。また成人の病院ではなかなか触れることの出来ない AAC のハイテク機器や手作りスイッチなどを実際に動かしてみることができ、大変貴重な体験となりました。STとして AAC に対する知識の不十分さを改めて認識させられ、そしてもっともっと積極的に活用していくべきものだと感じさせられました。

今回は9月に熊本託麻台病院で勉強会を開催する予定となっております。皆様奮ってご参加ください。

文責：熊本第一病院 前田紗知



[南部ブロック報告]

南部ブロックでは5月27日（土）15時から17時に熊本労災病院 会議室にて勉強会を開催しました。今回は嚥下障害と栄養をテーマに熊本労災病院のST3名が担当しました。

まずはじめに那須 ST が『ワーレンベルグ症候群により嚥下障害を呈した症例へのアプローチ』というテーマで経験した症例の評価や訓練内容、経過に

ついて説明がありました。

次は畠山 ST による『当院における NST 活動について』具体的な活動の報告や流動食の特徴について事細かな説明がありました。

最後に『変形性脊椎症を伴う咽頭腫瘍術後嚥下障害の1例』について私（折口）が症例報告をさせて頂きました。

思った以上に多くの参加がありうれしかったです。

今回は8月に公立多良木病院でキーワードは『NST』です。

なんと講師には NST で全国的にも有名な田中 Dr が ST のために特別講演をしてくださる予定です。ぜひぜひ皆さん参加してください。他のブロックの方の参加も心よりお待ちしております。

南部ブロック長 折口直美



[西部ブロック報告]

西部ブロックでは平成18年度第1回研究会を5/26（金）19:00-20:30にメディカル・カレッジ青照館にて行いました。

発表者は青照館の新人・松原慶吾先生、演題は書籍紹介で、植松 宏【監修】・千葉 由美・山脇 正永・戸原 玄【編】『摂食・嚥下障害のVF実践ガイド——歩進んだ診断・評価のポイント 南江堂（2006-05-15 出版）』でした。

まだ発売されたばかりの書籍ということで、すでに VF を実践している施設、これから開始しようとしている施設、双方の ST にとって大変有意義な発表でした。

また、附属の DVD を使って実際の症例を見ながら眼を鍛える演習も行われました。まだまだ自分の VF を見る眼が未熟であることを思い知らされ、こちらも大変勉強になる試みでした。

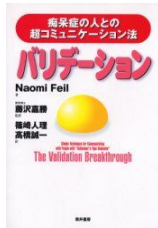
今回の研究会は7月28日（金）に青照館で予定しています。発表者はやはり青照館の新人で松本里佳先生、演題は未定ですが、自験例についてためになる発表になるのではないかと期待しています。

西部ブロック長 山口 信





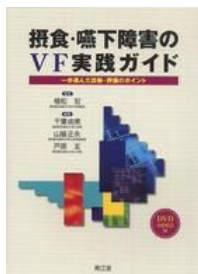
[バリデーション-痴呆症の人との超コミュニケーション法-]



Naomi.Feil 著 篠崎人理・高橋誠一訳 筒井書房
2001年

[書評]超慢性期病院に入職して大多数の患者さんが認知の問題を抱えていることがわかり、途方に暮れていた私が偶然出会った本です。介護や看護の現場に長年いる人にとっては当たり前のことが書いてあるのかもしれませんが、私にとっては認知症の患者さんに対する見方が変わるほどの衝撃を受けた本でした。自分自身ではこの本の内容を職務に十分に生かしたとはいえないかもしれませんが、新人 ST にぜひ読んでほしい本です。

[摂食・嚥下障害の VF 実践ガイド-一歩進んだ診断・評価のポイント-]



植松 宏監修 千葉由美・山脇 正永・戸原 玄編
南江堂 2006年

[書評]

西部ブロックの報告でも紹介しました。

とにかくまだ出たばかりの VF 実践ガイド。経験者にも未経験者にも重要な示唆を与えてくれる本だと思います。付録 DVD も実のためになる！



[麻生田保育園デイサービス開所による療法士募集について]

このたび、熊本市麻生田保育園では平成18年7月よりデイサービスを開所することになりました。つきましては、一緒にご協力していただく療法士の方を下記のとおり募集しています。どうぞご応募ください。

記

・仕事の内容 障害者手帳または受給者手帳を持った就学前の親子を対象とした療育、および親子の相談

- ・資格 作業療法士 言語聴覚士 音楽療法士
- ・勤務の日時 毎週 火 水 木

9:00~14:00

(但し、療育の希望者がいない場合はその日の勤務はありません。療育者の突然の欠席も含みます。)

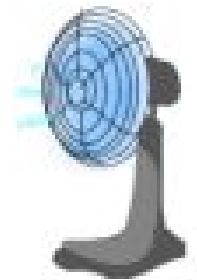
- ・報酬 5375円 (¥1075×5H)

熊本市立麻生田保育園

TEL 096-339-4197 FAX 096-339-4260

園長 坂本 純子

担当 佐々木亨江



会計より

年会費未納の方は、下記の口座に納入お願いします。年会費は4000円です。
肥後銀号 清水支店 普通預金
口座番号 1483841
名義 三浦真弓 (ミウラマユミ)
県士会の活動は全て皆様の会費により行われています。なにとぞよろしくお願いします。



[平成18年6月2日(金)臨時理事会議事録]

【報告事項】

平成18年度 日本言語聴覚士協会総会報告:提案事項は承認された。

平成19年度学会 浜松(学会長:長谷川賢一)

平成20年度学会 埼玉(学会長:藤田郁代)

*早期の法人化に向けて、識者のアドバイスを受けて準備中であるが承認時期は未定。早ければ今年度中に臨時総会が開催される可能性もある。

*法人化を期に協会本部移転予定。

*保険改定に関しては、当協会は厚労省の答申に従い、できるだけ正確な情報を伝えるように努力した。今回改定により、患者利用者に問題が生じている点をできるだけ拾い上げて厚労省に提出する必要がある。県士会からの各県の情報を提供してほしい。

*各県との保険部、事務局のそれぞれの連絡網整備。

*来年度より【言語聴覚週間】実施。9月1日を挟んだ週に、啓発イベントを行う。

- ・都道府県士会協議会(15団体)5月19日16:20-17:50

- ・地域職能組織代表者会議(40団体)同日18:00-19:30

多くの地方組織会が協会組織加盟への努力中であるが、達成に苦勞している。

- ・生涯学習委員会

本学会開催中に、基礎講座2講座、専門講座1講座が開講された。

今後全会員が受講できるよう地方開催を充実させる。

(10月28日 大分:2講座)

熊本市医専連理事会(6月1日:市医師会館)

沖縄県第3回脳卒中セミナー(6月3日:那覇市)

第8回熊本高次脳機能障害検討委員会会議(6月5日:県医師会館)

熊本県歯科技工士会50周年祝賀会(6月24日:キャッスル)

熊本訪問リハビリテーション研究会(9月9日:国際交流会館:平澤哲哉先生講演決定)

【検討事項】

1.理事の欠員の場合の措置

- ・規約を改正して理事会で残りの任期の補充人員を決定

2.ブロック長・副ブロック長・の選定方法

- ・人事はブロック内で決定し理事会に報告

・ブロック長は理事でなくてもよいが、理事会には出席が望ましい

3.部局長・部局インの選定方法

- ・部局長は理事会で理事の中から選定

- ・部局長が部局員を選定

4.理事会議事録の会員への公表

- ・ホームページ上で公開し、各自必要ならばプリントアウト

5.会報の作成方法・担当者・頻度の確認

- ・ホームページ上で公開し、各自必要ならばプリントアウト

6.その他規約の見直し・追加の必要な項目はないか

- ・1.も含めて青照館・黒川が作成。6月17日(土)の総会までに検討、当日青照館からプリントしたものを持っていく。

7.その他

①ST役員欠員の件

- ・市職員としてのSTについて、正職員を採用するように県士会で要望する件については詳細が不明なため保留。

②会員の意見を述べる方法等について

- ・事務局あてにメール等で。

③横浜コミュニケーション研究会・NPO法人リハビリテーション医療推進機構CRASEED・リハビリ診療報酬改定を

考える会から今回の診療報酬改訂の日数制限に反対する署名運動について協力してほしい旨の申し入れがあったが、県士会(全国協会)としてはどうするか?

- ・個人対応。

- ・事務局ブログに署名用紙をアップし、必要な会員は使用する。

④ホームページが無料版のためアップできるファイルの種類や大きさに制限があるので有料版に変更できないか。

- ・有料版に変更を検討。

⑤荒尾市民健康フェスティバルでおそろいのウィンドブレーカーの郵送費を県士会で負担してもらえないか。

- ・可能である。他地域で同じような事例が発生した場合もできるだけ援助する。

- ・ブロックでの催しの場合はブロック費で対応。



[第24回全国失語症者のつどい茨城大会]

[開催日]平成18年9月3日(日) 9:30-15:30
[大会会場](財)いばらき文化振興財団茨城県立県民文化センター
[懇親会]平成18年9月2日(土)
[主催]全国失語症者のつどい茨城大会実行委員会
[共催]全国失語症友の会連合会
[詳細]

<http://www.bayget.com/ibaraki/indexa.html>

[第12回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会]

[会期]大会：平成18年9月8日(金)・9日(土)
 ポストコンgresセミナー：9月10日(日)
[場所]川崎医療福祉大学
 岡山県倉敷市松島288
[詳細・申込]

<http://www.convention-j.com/jsdr2006/>

[日本言語聴覚士会生涯学習基礎講座研修会]

[日時]平成18年10月28日(土) 14:00-17:00
 (受付13:30-)

※終了時間については若干変更させて頂く場合があります。

[場所]ビーコンプラザ 1F 国際会議室
 別府市山の手町12-1 TEL:0977-26-7111

[内容]1. 基礎講座「言語聴覚療法の動向」
 日本言語聴覚士協会 地方組織委員
 (高木病院勤務) 久保健彦先生
 2. 基礎講座
 「臨床マネジメントと職業倫理」
 熊本県言語聴覚士会 会長
 (熊本機能病院勤務) 小菌真知子先生

[対象]言語聴覚士
[参加費]1講座500円
※2講座受講された場合1,000円
[定員]180名(定員になり次第、締切りとさせていただきます。)
※定員に達し参加困難となった場合、ご連絡致します。
[申込方法]平成18年8月31日までにFAXにてお申込みください。
※日本言語聴覚士協会会員の方は、生涯学習の2講座履修ならびに研修会参加によるポイント習得が可

能です。生涯学習受講記録票の持参をお願いします。
※会場で翌日開催の言語聴覚士九州地区合同学術集会への会場案内も行います。

[問合せ先]大分県言語聴覚士会 教育研修部
岩崎玲子 所属：明和記念病院リハビリテーション部
TEL:097-573-1000 FAX:097-573-1163

E-mail:meiwahp@estate.ocn.ne.jp

[第5回言語聴覚士会九州地区合同学術集会 (in大分)]

[会期]2006年10月29日(日) 10:00-16:30
 (受付9:15-)

[会場]iichico 総合文化センター 音の泉ホール
 (大分市高砂町2番33号オアシスひろば21内)
[参加費]事前登録一般4,000円 事前登録学生2,000円
 当日一般4,500円 当日学生2,500円

[内容]基調講演題
『これからの言語聴覚士に求められるもの』

 日本言語聴覚士協会 会長 深浦順一 先生
 教育講演

仮題『失語症のリハビリテーション』
 日本言語聴覚士協会 前会長 藤田郁代 先生
 一般演題、その他

[懇親会]大分全日空ホテル オアシスタワー5F
 孔雀の間 11:45-13:15 (大分市高砂町2番48号)
 会費2,000円

[一般演題申込締切]平成18年6月30日(金)

[参加申込締切]平成18年8月31日(木)

[問合せ先]第5回言語聴覚士会九州地区合同学術集会事務局

※湯布院厚生年金病院 リハビリテーション室
言語訓練室 森
〒879-5103 大分県由布市湯布院町川南252
TEL:0977-84-3171 FAX:0977-84-3969

メール：yufureha@wonder.ocn.ne.jp

※大分リハビリテーション専門学校 言語聴覚士科
平岡

〒870-8658 大分県大分市千代町2-4-4

TEL:097-535-0201 FAX:097-535-0966

メール：h-geng@po.d-b.ne.jp

編集後記

本平成18年度よりKSTNETはWEB版を基本とすることになりました。原稿が出来次第すぐアップできて便利になった反面、誤植も即人目に触れることになりました。

慎重に編集するよう心がけたいと思います。

(信)

yamaguch@seishoukan.ac.jp

